

あざみ谷野鳥観察

森のこの地帯には渡り鳥を含む数多くの野鳥類が生息し、小池を訪れます。夏季は特に、野鳥観察にうってつけの時期です。

キビタキ

キビタキは長い距離を移動する渡り鳥で、春と夏にこの地域にやってきます。オスには黒い上面に鮮やかなオレンジ色の胸元と、特徴的な模様が入っています。一方でメスの羽衣は概ね茶色い色調です。また、オスは美しい笛の旋律のような鳴き声を発します。

ヤマガラ

シジュウカラ属の一員ですが、ヤマガラは同属の他の鳥とは大きく異なります。羽衣は、茶色の胸元に青みがかった灰色の翼が印象的。ヤマガラはここでは年間を通して見ることができ、ドングリを足でおさえ丈夫なくちばしで割って食べる姿がよく見られます。

オオルリ

ヒタキ科のこの鳥もまた、渡り鳥です。東南アジアで冬を越しますが、夏にはこの森でしばしば見られます。白い胸元に青い背のコントラストが印象的なオスは、高い木の枝の端で長いこと羽を休める傾向があり、美しい鳴き声を持っています。止り木から飛び立ち空中で昆虫を捕らえ、また止り木に戻るといったパターンを繰り返します。

ウグイス

かつてジャパニーズ・ナイチンゲールとして知られていたウグイスは、目にするよりも耳にすることが多いです。ウグイスは日本人にとって特別な存在で、詩歌でもよくモチーフにされています。求愛のさえずり「ホーホケキョ」は早春から聞くことができますが、冬には標高の低い土地に移動します。